

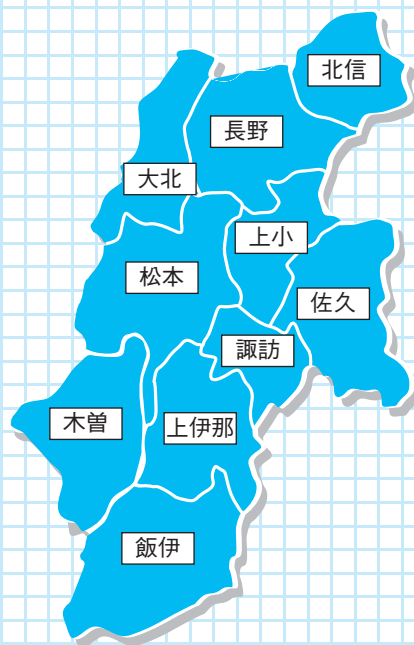
第6編

各地域別の特性と発展方向

地方分権が一層進展し、これまで以上に、自主性と自己責任に基づいた活力ある地域づくりが求められています。

県と市町村との信頼と納得のパートナーシップのもと、各地域が県内外との交流を図りながら、個性豊かな施策を展開し、地域の価値や魅力を高めることが、広大な県土を有する長野県が発展するための原動力となります。

そこで、本県がめざす5つの姿に沿って、各地域の個性や特性を生かした発展方向を明らかにし、地域の実情を踏まえた本県全体の一層の均衡ある発展をめざしていきます。



- 1 佐久地域
- 2 上小地域
- 3 諏訪地域
- 4 上伊那地域
- 5 飯伊地域
- 6 木曽地域
- 7 松本地域
- 8 大北地域
- 9 長野地域
- 10 北信地域

*のついた用語は、263ページの「用語解説」をご覧ください。

広がる交流 協働と連携で創る 活力あふれる高原のふるさと

地域特性と発展方向

佐久地域は、千曲川の最上流に位置し、浅間山、八ヶ岳などの豊かな自然に恵まれた、我が国数の高原リゾートエリアであるとともに、冷涼な気候を生かした高原野菜、加工組立型産業・技術の集積など、風土に根ざした多彩な産業が発展しています。

北陸新幹線、上信越自動車道、中部横断自動車道など高速交通網の整備により、首都圏、日本海圏、太平洋圏との交通の結節点として、企業立地や観光などの様々な分野で発展の可能性が高まっています。高速交通網の効果を佐久地域全体に波及させるため、アクセス道路の整備や他地域との広域交通ネットワークを構築していく必要があります。



整備が進む中部横断自動車道

少子高齢化が進行する中で、地域の伝統や文化の保存・継承とともに、持続可能な活力ある地域社会に向けた取組が求められています。

施策の展開

1 地域の特性を生かした活力あふれる多彩な産業の振興

- 首都圏との近接性などの強みを生かし、佐久リサーチパーク等の産業団地への企業誘致を推進するとともに、地域に根ざした高付加価値型産業の創出を支援します。
- 美しい自然環境、豊富な農林水産物、伝統・文化など多様な観光資源の有機的結合により、環境、健康等をテーマとした滞在型商品の開発を促進するなど、観光地の新たな魅力づくりを支援するとともに、広域的な観光ルートづくりを推進します。
- 豊かな自然と培われた技を生かし、こだわりのある農畜産物の生産や新たな品目の導入など、消費者の多様なニーズに対応した彩り豊かな産地づくりを支援します。また、関係機関の連携のもと、環境と共生した農業・農村づくりや地域農産物を生かした地産地消の取組を進めます。
- 県内最大のカラマツ資源を生かし、公共施設や住宅等への地域材の利用促進など、林業・木材産業の振興を図ります。
- 「地域外マネー^{*}」の獲得、地域内の再投資力と産業連関^{*}の構築による地域の持続的発展に向けた、地域住民等の協働を促進します。また、様々な地域資源を活用した地域の元気を生み出す取組を支援します。



ショー氏記念礼拝堂

2 交流の拡大による地域活性化と美しいふるさとづくり

- 中部横断自動車道の整備を促進するとともに、国道141号、国道142号、国道254号、国道299号、県道川上佐久線、広域営農団地農道（佐久南部地区）等の地域道路網の整備を推進します。
- 地域全体で環境と調和した美しい景観づくりを推進します。また、景観育成住民協定*の締結を図るなど、住民主体による地域の個性を生かした景観育成に対する取組を支援します。
- 全国有数の日照時間の長さを生かした太陽光発電などに対する気運が高まっており、再生可能エネルギー*の普及を図るなど地球温暖化対策を推進します。また、千曲川の上流域

として水環境の保全に取り組むなど、自然と人との共生を図ります。



高原野菜と八ヶ岳

3 健康長寿、安全・安心で持続可能な地域社会の構築

- ドクターヘリの運航を支援し、救急医療対策を推進するとともに、医療機関相互の機能分担と連携体制の構築を進めます。また、佐久大学の整備を支援し、医療の高度化に対応でき、地域に根ざした看護職員の養成・確保を図ります。
- 高齢者や障害者の在宅福祉の充実をはじめ、地域の支え合いのもと、誰もがいきいきと生活できる地域社会づくりを推進します。
- 地域ぐるみで子どもを育てる意識を高め、放課後の居場所づくりを支援するなど、安心して子どもを生み育てられる環境を整備します。
- 浅間山の火山対策、湯川、北沢川等の河川改修や土砂災害防止対策を推進するとともに、消防団や自主防災組織*の組織化・活性化を図ります。また、高齢者をはじめとする交通弱者が安心して通行できる交通環境の整備を進めます。



千曲川と浅間山

歴史と自然が輝き 技術と感性が彩る 連携と交流の新時代

地域特性と発展方向

上小地域は、少雨多照の気候で、標高差のある豊かな自然に恵まれており、高原、ため池、棚田などの美しい景観をはじめ、歴史的建造物、史跡等の地域資源が豊かであるとともに、高速交通網の整備により首都圏から近く、長野・松本・諏訪・佐久地域に隣接した文化・経済の要衝の地域であり、地域内外の一層の連携と交流により、さらなる発展が期待できます。

地域医療と福祉サービスの充実、自然災害への対応などによる安全・安心な地域づくりとともに、美しい自然環境の保全に努め、自然と共生し、持続的に発展できる循環型社会の構築をめざします。

これまで地域が培ってきた技術や人材と、大学や産学官連携支援機関等が整っている強みとが融合した新しい技術や産業の創出、気候と標



上田城千本桜まつり

高差を巧みに生かした多様な農業の振興、多彩な地域資源などを生かした観光の発展が期待されるとともに、これらを担う人材の育成が求められています。

施策の展開

1 地域内外の連携と交流の促進、地域資源などを融合した観光の推進

● 「上田地域30分（サンマル）交通圏^{*}」の実現に向け、中心市街地へのアクセス道路（国道144号、県道長野上田線など）や、市街地を迂回する環状道路（国道18号上田バイパス、国道143号などにおける市街地への通過交通の流入を抑制する道路）の整備を推進します。また、他地域との連携を図り、拠点地域としての機能を高めるための道路整備を促進します。



海野宿ふれあい祭

● 「信州の鎌倉」塩田平や上田城跡、海野宿等の歴史的文化遺産、高原のさわやかな自然、ため池・棚田などの農村景観、特色ある温泉といった多彩な地域資源を生かし、スポーツ・音楽・健康づくりなどを融合した魅力ある滞在型観光を推進し、観光地としてのブランド力の向上を図ります。

● 中心市街地の活性化を図るため、市町村をはじめ、商工関係団体や地域住民等と連携し、多様な都市機能が集積した賑わいのあるまちづくりを推進します。

2 未来にわたって持続できる安全・安心な地域づくり

- 治山・治水・砂防事業や建築物の耐震化などの減災対策、住民の防災意識の啓発など災害に強い地域づくりを推進します。
- 住民の健康づくりを総合的に支援し、住民が安心して必要な医療を受けられるよう、産婦人科医・小児科医・麻酔科医等の医療従事者の確保に努めるなど、地域医療体制の整備を図ります。
- 高齢者・障害者が住み慣れた地域で生活できるように福祉サービスの充実や放課後の居場所づくりなど子どもを育てやすい地域づくりを進めます。
- 良好な景観や豊かな自然環境の維持・保全に努めるとともに、ゴミの減量化・再資源化などにより持続的に発展できる循環型社会の形成を図ります。

- 信州大学や長野大学など教育関係機関との連携や生涯学習などの推進により、専門知識や技術を有し、地域を支えリードする人材の育成を図るとともに、外国籍県民との多文化共生のまちづくりを進めます。



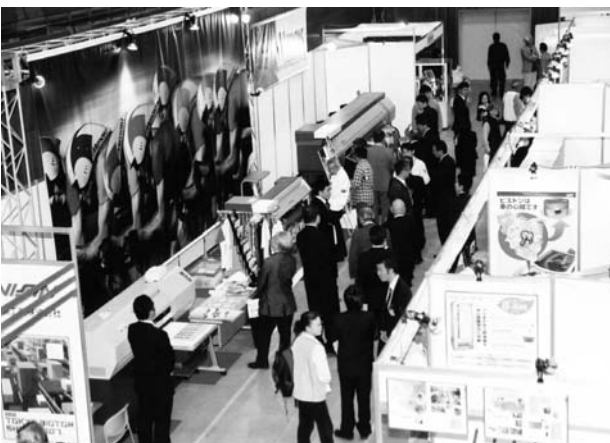
国宝「大法寺」

3 新たなものづくり産業や特色ある農林業のさらなる発展の支援

- 地域が培った技術・人材の活用と信州大学や浅間テクノポリス地域センターなどの産学官連携により、ナノテクノロジー*などの研究成果を生かした産業の集積を図るとともに、感性価値*などの新しい視点を付加したのものづくり産業を振興します。
- 少雨多照な気候など地域の特性を生かし、競争力のある農業を多様な担い手により推進

するとともに、地域農畜産物の販売を促進します。また、農村地域における農地・水・環境の適切な保全・管理等を図るため、地域ぐるみで行う共同活動の支援など、環境と調和した住み良い農村づくりを進めます。

- 健全な森林づくりのための間伐や松くい虫対策等の実施、地域材の安定供給や利用促進を図ります。



上田地域総合産業展



長門牧場

伝統と美しい大地がはぐくむ ひとづくり ものづくり

地域特性と発展方向

日本列島のほぼ中央、交通の要衝に位置する諏訪地域には、先端技術を誇る製造業、特色ある観光や農業など多様な産業が集積しています。また、諏訪湖や八ヶ岳などに代表される雄大な自然環境に囲まれ、諏訪大社、縄文文化の遺跡などをはじめとする多様な歴史的・文化的資源を有しています。

こうした多様な地域資源を活用し、産業の振興、自然環境の保全などの課題に、関係者と地域住民が連携し、人と環境の調和のとれた真に豊かな地域社会を創造していくことが求められています。

このため、未来を担う人材の育成を図りながら、先端技術産業を中心に世界をリードする「諏訪ブランド」の確立をめざすとともに、多様な地域資源の活用と魅力ある観光地づくりの推



諏訪湖と八ヶ岳を望む

進、変化に富んだ自然環境の保全と災害に強い地域づくりの推進を図り、活力ある地域を形成していく必要があります。

施策の展開

1 世界をリードする「諏訪ブランド」の確立

- 世界に誇る加工組立型産業などにおいて、これまで培われてきた技術集積を生かし基盤的技術の高度化を図るとともに、工業技術総合センター、諏訪東京理科大学など産学官の連携により、新規成長分野への挑戦や創業・起業環境を醸成し、世界市場をリードする「諏訪ブランド」の確立をめざします。

また、諏訪圏工業メッセの開催などを通じて、「諏訪ブランド」を全国、世界に発信します。

- 厳しい冬の寒さを利用した寒天や清冽な水を生かした諏訪の酒、諏訪湖のワカサギに代表される川魚など地域の特性を生かした地場産業の振興や、消費者に愛される高品質な農畜産物の生産を図り、これらの分野において



諏訪圏工業メッセ

も「諏訪ブランド」の確立をめざすとともに、環境に配慮した産業振興を推進します。

2 多様な地域資源の活用と魅力ある観光地づくりの推進

- 諏訪大社、縄文文化の遺跡など多くの歴史的・文化的資源や諏訪湖・ハケ岳に代表される豊かな自然環境、湯量豊富な温泉、製糸業の産業遺産などの多様な地域資源を有機的に結合し、文化芸術・地域文化へ親しみ参加することができる環境を創出するとともに、これらと調和のとれた観光振興を推進します。
- 地域内の市町村や県外を含めた近隣地域と連携し、高速交通網を活用した広域観光化の促進を図るとともに、ホスピタリティ*の醸成など、地域一体となった魅力ある観光地づくりを推進します。



御柱祭

3 変化に富んだ自然環境の保全と災害に強い地域づくり



災害に強い森をつくる地域住民による植樹作業

- 諏訪湖水質保全計画に基づき諏訪湖の浄化対策を推進します。また、ハケ岳をはじめとする地域に広がる豊かな自然環境の保全、緑豊かな景観形成などの取組を、住民と協働しながら推進します。
- 諏訪湖を含む天竜川流域や富士川水系などの総合的な治水対策や、土砂災害などの未然防止等のための治山・砂防事業の実施、土砂災害警戒区域等*の指定やハザードマップ*の作成など防災体制の強化により、災害に強い安心して暮らせる地域づくりを推進します。

4 未来を担う人づくりと活力あふれるまちづくり

- 豊かで活力あるまちづくりのため、地域経済を支える人材の育成・確保や未来を担う子どもたちへの教育の充実に努めます。
- 地域に暮らす誰もが、支え合い、助け合いながら、豊かにいきいきと暮らすことのできるまちづくりを、保健・医療・福祉の連携のもと、住民と協働しながら推進します。
- 快適な暮らしや交流を促進するため、CATVやインターネット等を活用し、行政情報、災害情報の提供など地域情報化の推進を図ります。
- 幹線道路や生活道路をはじめとする交通網の整備などを推進するとともに、国道20号バイパスやリニア中央新幹線*の県内Bルート*による早期建設を国等に働きかけます。

豊かな自然と調和する産業 未来へつなぐ安心・ふれあいのまち

地域特性と発展方向

上伊那地域は、2つのアルプスと天竜川、身近な農村・里山などがつくる雄大で美しい景観を有しています。また、電子・電機など加工組立型の工業が集積しているほか、地域の特性を生かした農林業など、多彩な産業が発展しており、産業間の連携による高付加価値化など、一層の産業振興を図る必要があります。

冷涼で快適な気候のもと、住民誰もが健康でいきいきと暮らすことができるよう、医療・福祉サービスの充実や仕事と家庭生活が両立できる環境整備、地震等の災害に強いまちづくりなど、安心して暮らせる環境づくりに積極的に取り組むことが求められています。

交通網の整備や、地域の特性を生かした個性あるまちづくりによって人やモノの交流を促進するとともに、地域を支える人材の育成を進め、



中央アルプス千畳敷カール

全ての住民が快適に暮らせる地域づくりを推進する必要があります。

施策の展開

1 豊かな自然環境と調和した多彩な産業の振興

- 雄大なアルプスと豊かな森林に育まれた清らかな水や空気を守るため、下水道などの整備を促進するとともに、廃棄物処理の適正化・再資源化などを推進します。
- 豊かな環境に根ざした付加価値の高い農畜産物の生産や多様な農業の担い手の確保、環境負荷の小さい燃料である木質ペレット*普及等による森林活用などにより、農林業の振興を図ります。
- 伊那テクノバレー地域センターや伊那技術形成センター等と連携し、技術力のさらなる高度化や、成長が期待される新たな産業分野などへの展開、企業立地促進法^(※)に基づく企業立地の促進などにより、工業の集積と充実強化を図ります。また、伊那技術専門学校における人材育成や、より高度な知識を有する人材の育成方法について検討します。
- 国道361号伊那木曾連絡道路（権兵衛トンネル）等の交通網を活用した広域観光や滞在型観光の推進など、自然環境や歴史などの地域資源を活用した観光の振興を図ります。

(※) 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律

2 健康でいきいきと暮らせる生活環境づくり

- 高齢者や障害者に対するサービス基盤整備や、放課後の居場所づくり等による子育て環境の整備などにより、地域福祉の充実に図ります。
- 医療従事者の量的確保、医療機関の連携促進、駒ヶ根病院の改築などにより、多様なニーズに対応する医療提供体制の確保を図ります。
- 東海地震等の大規模災害に備える建築物の耐震性能向上や治山・治水・砂防事業の推進により、災害に強いまちづくりを進めます。また、災害時に高齢者、障害者、外国籍県民などへ必要な支援を行う体制の整備を図ります。
- 野生鳥獣による農林業被害を防ぐため、防護柵の設置や緩衝帯整備などを進めるとともに、衛生的な食肉処理方法の普及により、捕獲した野生鳥獣の地域資源としての有効な活用を促進します。
- 常備消防*広域化や消防団員確保への支援、高齢者の交通事故防止の推進、住民・関係機関との協働による犯罪発生への抑止などにより、安全・安心な生活環境づくりを進めます。

3 広がりとながりのある地域づくり・人づくり

- 国道153号伊那バイパス・伊南バイパス、県道伊那生田飯田線などによる交通ネットワークの形成を進めます。また、国道361号伊那木曾連絡道路（権兵衛トンネル）開通に伴う木曾地域との多面的な交流など、隣接する地域との連携を促進します。
- 交流とにぎわいの創出を図るため、JR飯田線の乗り継ぎ改善や特急乗り入れなどによる、北信地域や首都圏との時間距離短縮の働きかけを行います。また、リニア中央新幹線*の県内Bルート*による早期建設の働きかけを行います。
- 景観育成住民協定*の締結、景観育成特定地区*の指定地域（伊那市西箕輪地区）や日本風景街道*沿線の取組、地域資源を活用したイベントや特産品の開発など、住民主体の活動を支援し、協働による地域づくりを推進します。
- 外国籍県民に対して、納税や各種行政サービス、生活に関する情報の母国語による提供などにより、地域社会への参加を促進します。
- 学校・家庭・地域での生涯にわたる学習環境づくりや、地域を支える人づくりに向けた取組を支援します。



赤そばの里



陣馬形山から望む中央アルプスと伊那谷

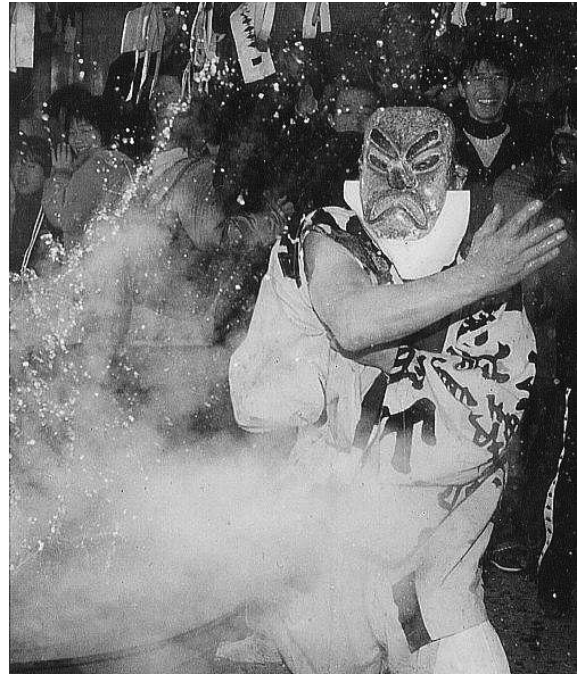
三遠南信から^{あす}未来を拓く 水と緑の交流空間 南信州

地域特性と発展方向

南信州は、古くから三河（愛知県）や遠州（静岡県）と結ぶ信州の南の玄関口として、自然環境を大切にしている情緒あふれる暮らしの中で、霜月祭りや大鹿歌舞伎をはじめとする民俗芸能、水引、和菓子といった地場産業を育みながら、電機、電子などの製造業を中心に発展してきました。

今後は、南アルプスと天竜川が織り成す雄大な自然や昼神温泉、茶臼山高原（南信州広域公園）などの観光拠点、複雑な地勢を生かした多様な農畜産物など、南信州の有する豊かな地域資源の魅力と特性を生かして新たな「南信州ブランド」へと発展させるとともに、グリーンツーリズム*など体験型観光の先進地としての可能性を高めつつ、地域の活性化を図ります。

また、東海地震などに備え、災害に強い生活基盤の形成や、県内外を結び交流の拡大をもたらす高速交通網の着実な整備を促進し、若者定



霜月祭り

住や企業立地の促進等により地域経済の向上を図ります。

施策の展開

1 自然と人と文化が織り成す環境に優しい地域社会の形成

- 下流域に恵みをもたらす南信州の豊かな森林を、次代に託すかけがえのない財産として引き継げるよう、上下流域との連携を図りつつ、健全な森林づくりに取り組みます。
- 太陽光や木質バイオマス*など環境に優しい再生可能エネルギー*に恵まれた地域特性を生かし、行政、住民、企業の連携による利用促進を図り、循環型の地域社会を形成するとともに、誰にもやさしく誇りの持てる景観の美しい地域づくりを推進します。
- 古くから脈々と引き継がれてきた文化財や祭り、人形浄瑠璃、歌舞伎などの伝統芸能、人形劇フェスタなど多彩な地域文化の情報発信に積極的に取り組み、多くの人が集い、楽しめる賑わいの場を創出します。
- 雄大な自然や多彩な伝統文化を生かし、一人ひとりの個性や能力を伸ばせる教育と、すべての人たちの学ぶ意欲にこたえる教育環境づくりを推進し、誰もが学べる、働ける、ボランティアなどの社会活動に参加できる地域共生型の社会づくりを推進します。

2 交流と知恵で広がる力強い地域産業の育成

- 三遠南信自動車道の整備促進とそのネットワークの一部を担う国道152号の整備をはじめ、国道151号、国道256号、県道飯島飯田線、県道天竜公園阿智線などの幹線道路網整備やリニア中央新幹線*の県内Bルート*の建設促進、国と連携しながら情報通信網の整備促進などに取り組み、県土の均衡ある発展と三遠南信地域の核となる地方拠点都市*の形成を図ります。
- 地域の産業振興の拠点である飯伊地域地場産業振興センターなどと連携し、人材育成や技術力の向上、新分野への事業展開支援、企業立地等の促進により地域経済の活性化を図ります。
- 和菓子や漬物などの風土食や水引工芸などの地場産品に加え、多彩な農畜産物や加工品などを新たな観光資源「南信州ブランド」へと発展させるとともに、本物を体験、体感できる魅力ある観光エリアとして広域交流を促進します。

- 農畜産物や木材のブランド力の向上等による高付加価値化、生産を支える技術の普及と基盤の整備、食への活用を含めた野生鳥獣被害対策等による魅力ある産業化と担い手の確保により農林業の活性化を図ります。



三遠南信自動車道 飯田山本 IC 完成予想図

3 温かな心がかよう安らぎと安全の地域づくり

- 高齢者や障害者など誰もが、健康で生きる喜びを感じられる生活基盤づくりと、安心して子どもを生み育てられる環境整備を支援するとともに、地域全体で支え合うネットワークの充実に努めます。



稲刈りを楽しむ体験教育

- 東海地震や豪雨災害に備え、住民に防災情報を適切に提供できるよう努めるとともに、山間部での土砂災害や河川氾濫などに対する総合防災対策の充実や、隣県との広域連携防災体制の確立に努めます。
- 日々の暮らしを支える街路などの生活道路を、市町村との連携のもとに、幹線道路網と有機的・効率的に接続するように整備を推進するとともに、安全・安心な通行ができるように国道418号、県道飯田富山佐久間線、県道松川インター大鹿線、県道米川飯田線などの道路改良等に努めます。

水と緑に抱かれ 歴史息づく やすらぎのふるさと 木曾

地域特性と発展方向

木曾川、御嶽山、赤沢自然休養林などの豊かな自然、古くからの「木曾路」としての歴史、特色ある食や文化、伝統的な木材関連産業等の地域資源を背景に、やすらぎのある「水と緑のふるさと」としての発展が期待されています。

保健・医療・福祉の充実、公共交通やコミュニティ機能の確保、災害対策など、誰もが安心して暮らせる「山里暮らし」の環境を整備し、雇用機会の創出、都市居住者の受け入れ支援などにより、定住人口を確保していきます。

国道19号や木曾川右岸道路、国道361号伊那木曾連絡道路等の道路網や高度情報化網の整備、下流域との交流の拡大を背景に、高い技術力を持つ製造業の発展、観光を軸とする産業の活性化、交流人口の増加を図り、活力ある地域づくりを推進していきます。



森林セラピー基地「赤沢自然休養林」

施策の展開

① 自然、歴史、文化、特産品などの地域資源の「木曾ブランド」としての確立・普及

● 「木曾らしさ」を大切にした観光や交流を促進するため、計画的な土地利用や景観育成、街道・宿場等の世界遺産への登録に向けた取組を支援し、「木曾路」全体で歴史的・文化的資源の保存・活用を図ります。



国の重要伝統的建造物群「妻籠宿」

● 森林セラピー基地*「赤沢自然休養林」を利用した健康づくりをはじめとして、豊かな森林資源や遊休農地等を、癒しの場や農林業体験の空間と位置づけ、観光施策と連携して有効に活用します。

● 木曾を代表する味である、そば、御嶽はくさい、赤かぶ、木曾和牛等の農畜産物、人工林ヒノキやカラマツ等の製材品その他の林産物について、地域の特産品として高付加価値化を推進します。

● 林業や農業の持続的な発展を図るため、担い手の育成に努めるとともに、地域の実情にあった総合的な野生鳥獣被害等の対策を実施します。

2 誰もが安心して暮らせる安全・快適な「山里暮らし」の環境の整備

- 水源地域として木曾川下流域との交流を進め、間伐などの森林整備・育成を推進するなど、水環境の保全に取り組み、「水と緑のふるさと」としての基盤を整備します。
- 公共施設や医療施設への日常交通の利便性を確保するため、道路整備の推進、公共交通網の確保を図るほか、地域の自主的なコミュニティ活動の促進を図ります。
- 医療拠点としての木曾病院の体制確保を図るほか、高齢化率の高い現状を踏まえた介護予防の推進、生活習慣病の予防、地域に根ざした食育*などによる健康づくり運動を推進します。
- 高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、障害者の自立・就労支援、地域ケア体制*の確立などにより、地域に根ざした福祉の充実を図ります。
- 急峻で災害の起きやすい地形や災害時に孤立しやすい山間地の集落の存在を踏まえ、治山・治水・砂防施設を整備するとともに、自主防災組織*の確立を図るなど、減災の視点に立った対策の充実を図ります。



開田高原から望む御嶽山

- 団塊の世代*をはじめ「山里暮らし」を望む都市住民の移住促進、子育て支援などにより、定住人口の確保を図ります。
- 高等学校その他の教育機関において、地域の特性を踏まえた特色ある教育を提供し、人材の育成・定着を図るとともに、地域に根付いている伝統的郷土芸能や木曾音楽祭などの文化活動の振興を図ります。

3 道路網・情報網などの基盤整備を生かした新たな産業、交流の展開

- 南北を結ぶ基幹道路である国道19号の安全・防災対策を進めるとともに、代替道路として、また、生活道路として重要性の高い木曾川右岸道路の整備を推進します。



権兵衛トンネル（伊那木曾連絡道路）

- 国道256号、国道361号、県道奈川木祖線、県道開田三岳福島線等の整備を推進するなど、地域内道路の体系的な整備を図ります。
- 道路網や光ファイバ網の整備の進捗を踏まえ、様々な業種・業態が連携した広域・滞在型観光ルートの充実、産業活動の広域化などにより、交流人口の増加や地域内外の連携・交流の拡大を図ります。
- 機械金属関連業をはじめとする製造業のさらなる発展を支援するとともに、企業の誘致を図ります。

皆で創ろう 人・自然・文化が織り成す 躍動のステージ・まつもと

地域特性と発展方向

北アルプスの山岳観光や安曇野の田園景観、国宝松本城などの恵まれた観光資源、信州まつもと空港を擁する交通利便性、電機・情報・電子など県内有数の生産規模を誇る産業集積を最大限に活用し、県内経済の中核的地域としてさらなる飛躍をめざします。

福祉サービスの充実とともに、児童の健全育成や保育など子育て支援の充実を図ります。また、医療機関等の連携を図り、地域医療を確保します。さらに、集積する教育機関の連携・協力による人づくりを進めます。

全国ブランドの産地として農業生産基盤整備を促進し、環境に配慮した高付加価値農業を推進します。また、県土保全機能を高めるととも



空の玄関 信州まつもと空港

に、地域の防災力の向上を図り、災害に強い安全・安心な地域をつくります。

施策の展開

1 《宝を生かす》 人々が集う、豊かな地域をめざして

- 空港の利便性の向上に努め、県民が一丸となった取組により空港の利用促進を図ることで、ジェット機による毎日運航の早期実現をめざします。また、国際チャーター便*の誘致に向けた取組を行うとともに、外国人旅行者が滞在しやすい環境づくりを進め、国際色あふれる地域づくりをめざします。
- 中部縦貫自動車道や松本糸魚川連絡道路などの主要幹線道路、国道158号の改良や国道403号など中山間地域における生活道路の整備、出川双葉線や内環状南線など都市部の渋滞対策について、効率的に整備を進めます。また、JR中央東線・篠ノ井線・大糸線の利便性の向上について、広域的な取組を推進するとともに、関係機関に働きかけていきます。
- 上高地・乗鞍等の山岳観光や安曇野の田園景観、松本城・奈良井宿等の文化遺産、浅間・白骨・穂高等の温泉、善光寺西街道など地域の観光資源を有機的に連携させた、滞在型・体験型の広域観光を推進し、観光産業の再生を図ります。
- 中部山岳国立公園などに代表される美しく貴重な自然の恵みを将来にわたって保持します。また、北アルプスなどの山岳景観と、ここから発する豊富な清流・湧水や地下水に育まれた豊かな生活環境を後世に引き継ぎます。
- 意欲のある者に対する創業支援を行うとともに、産学官連携による新技術・新製品の開発やものづくり人材の育成を促進します。また、伝統工芸品などの地域資源を活用した新商品開発を促進します。

② 《輝いて生きる》 誰もが住みやすく、住み続けられる地域をめざして

- 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる地域ケア体制*の確立を促進するとともに、障害者の地域生活を支える相談支援体制の整備、生活の場の確保などサービスの充実を市町村と協働で推進します。また、住民の介護予防・健康づくりの充実を進めるとともに、個人の意欲を発揮できる学習体制づくりや社会参加を促進します。
- ひとり親家庭に対する経済的自立に向けた就業支援を行うとともに、就業支援などにもつながる休日保育や夜間保育などの保育サービスを支援します。
- 子どもの放課後の居場所づくりを支援するなど、地域の特性を生かした子どもの健全な育成を図ります。
- 医師や看護師など医療従事者の確保を図るとともに、中核病院と地域医療機関の連携により安定的な医療の提供を確保します。また、救急医療体制の確保を図るとともに、地域住民への医療機関情報の提供を行います。
- 地域に根付いたサイトウ・キネン・フェスティバル松本などの開催を推進するとともに、信州大学などとの連携・協力により地域課題の研究活動等に取り組みます。また、市町村やNPOなどが行う文化・スポーツ活動を通して住民に幅広い活動の場を提供し、地域づくりへの参加を促進します。

③ 《そして未来に》 農林業の振興や県土保全により、安心して暮らせる地域をめざして

- 環境と調和し、自然と共生する農業の振興と多様なマーケットに対応した競争力ある農畜産物の生産・流通販売を促進し、鮮度・品質・安全性の高い産地ブランドを構築するとともに、観光産業・食品産業との連携、地産地消など新たな地域内流通を推進します。
- 新規就農者や多様な担い手の育成支援、農地の有効活用や地域農業を支える組織づくり、女性農業者の積極的な経営参画、団塊の世代*が農業で能力を発揮できる場づくり、高齢者が主体となった食文化の伝承などを促進し、皆がいきいき暮らす美しい農村づくりを進めます。
- 水路や畑地かんがい施設などの農業用施設の整備を進めます。
- 適正な森林整備による健全な森林づくりを推進し、野生鳥獣と共存できる環境を創造するとともに、カラマツ・アカマツ材の利用を促進します。また、農林産物の被害対策として有害鳥獣の捕獲を積極的に進めます。さらに、農業・農村や森林の持つ多面的機能の維持を図ります。
- 土砂災害危険か所や浸水想定区域の明確化を図り、住民主体の警戒避難体制づくりを促進するとともに、治山・治水・砂防の防災工事を推進し、緊急危険か所の早期解消に努めます。さらに、公共施設の耐震化、消防団や自主防災組織*の充実に努めます。



上高地河童橋



安曇野道祖神

熱い思いにひとが集う 北アルプスの里へ

地域特性と発展方向

大北地域は、古くは千国街道（塩の道）、最近ではオリンピック関連道路などにより、経済、文化等の交流が頻繁に行われ、様々な産業が育まれてきました。しかし、現在は、高速交通ネットワークが形成されておらず、産業を支える社会基盤の整備が喫緊の課題となっています。

雄大な北アルプス、清らかな仁科三湖などの豊かで美しい自然環境、国宝仁科神明宮をはじめとする数多くの文化財や史跡、特色のある伝統行事や郷土芸能が受け継がれてきました。緑と水の環境を保ちながら、スキー、温泉、登山などに新たな顧客を開拓し、多様な個人ニーズに対応した観光地をめざす必要があります。

今後、県平均を上回るスピードでの少子高齢化が避けられず、また、医療施設の偏在や医療



北アルプスを望んで

従事者の不足、糸魚川—静岡構造線や急峻で脆弱な地形の存在などの課題もあるため、保健・医療・福祉・防災面で総合的な安全・安心を確保する必要があります。さらに、健康で住みよいまちづくりのため、持続可能な社会をめざした取組を住民と共に進めていくことが重要です。

施策の展開

① 活力あるまちづくりと魅力ある産業の創造

● 地域の基幹道路となる松本糸魚川連絡道路の整備を推進し、企業の誘致や観光地への誘客を図り、産業振興と地域活性化をめざします。



「北アルプス山麓ブランド」認定品発表会

● 農林畜産物の高付加価値化を図るなど、魅力ある農林業の構築を進めるとともに、特色ある農畜産物や水産物とその加工品を「北アルプス山麓ブランド*」として確立し、観光産業とも連携しながら、地域の振興を図ります。

● 清涼な空気や豊富な澄んだ水、北アルプスのブランドイメージ、高度な基盤技術など、地域の強みを生かした企業誘致の取組を支援します。

● 北アルプス山麓の観光地から中心商店街へ旅行者を誘導するなど、観光産業と商業の連携により、地域に根ざした魅力ある商店街づくりの取組を支援します。

● 地域の8割を占め災害や地球温暖化の防止に大きな役割を果たす森林の適切な間伐を推進するとともに、森林の有効活用と林業の振興を図ります。

2 様々なニーズに個性でもてなす観光地づくり

- 平成21年（2009年）春に開園が予定されている国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）を活用し、地域への誘客を図ります。



塩の道祭り

- 北アルプスや仁科三湖など地域の優れた観光資源の有効活用により、体験型・滞在型観光の促進を図ります。
- 外国人観光客のニーズを重視し、“食”や“ことば”などで「おもてなし」ができる人づくりと観光地づくりを進め、海外からの誘客をさらに促進します。
- 市町村、地域団体等と連携し、地域の個性を生かした観光メニューを創造し、統一的なイベント開催や情報発信により、広域的な観光振興を図ります。

3 優しさあふれ、笑顔で暮らせるやすらぎのあるまち

- 生活習慣病の予防や健康増進を図るとともに、安全・安心な医療を受けられるよう、休日・夜間・救急の対応など医療体制の整備を図ります。
- 高齢者や障害者が地域で安心して自立した生活ができるよう、支援体制の整備を図るとともに、子育て相談や親子交流などによる地域での子育て支援を促進します。
- 治水・砂防・治山等の防災施設の整備や土砂災害警戒区域等*の指定の推進、ハザードマップ*の作成支援、消防体制や自主防災組織の充実などにより、ハード・ソフト両面からの減災対策を進めます。

- 地域が一体となり、ごみの減量化やリサイクルによる省資源化や各種エネルギーの有効利用を推進するとともに、廃棄物の監視や継続的な水質監視を行い、環境の保全に取り組みます。
- アイドリングストップの取組、マイバック運動の展開などにより、地球温暖化対策を推進します。



若一王子神社 子供流鏝馬（やぶさめ）

響きあう個性 広がる交流 躍動するまち「長野」

地域特性と発展方向

善光寺平を中心とした長野地域は、機械、電機、食品をはじめとする製造業、商業、観光産業など多様な産業や都市機能が集積する県の中核的な地域であり、近年はオリンピック・パラリンピックの開催を契機に国際的なスポーツ交流などが広がりをみせています。

北陸新幹線長野・金沢間の開業を人的・経済的交流のさらなる拡大につなげるため、自然、歴史、文化などの資源を最大限に生かした特色ある地域づくりや、高度技術を活用した製造業など地域の活力を支える力強い産業の育成が求められています。

都市部と農山村部それぞれの個性が響きあうまちづくりを進めるとともに、産学官連携による付加価値の高いものづくりや農畜産物のブランド化、観光地の再生支援などを進め、人的・



賑わう善光寺御開帳 ©善光寺

経済的交流の拡大を図るほか、豊かな自然と共生した誰もが安心して暮らせる地域づくりを進める必要があります。

施策の展開

1 個性が響きあう交流のまちづくり

- 松代、須坂などの歴史ある街並みや、心安らぐふるさとの自然環境、伝統文化など、都市部・農山村部それぞれの持つ豊かな資源を生かした個性あふれるまちづくりを進めます。
- 国道18号バイパス、国道117号、国道403号、国道406号、県道長野上田線、県道長野真田線などの地域道路網の整備の推進、国との連携により情報基盤の整備を促進し、情報格差の是正を図るなど、地域内外との連携・

交流の基盤づくりを進めます。

- イベント情報などの地域情報の発信やグリーンツーリズム*の促進など、交流拡大・定住に向けた取組を進めます。
- 機能的で魅力あふれる中心市街地形成のため、街路など都市環境の基盤整備を進めるとともに、千曲川流域下水道の整備など、快適な生活環境の整備を推進します。

2 地域の活力を支える産業づくり

- 信州大学をはじめとした高等教育機関、工業技術総合センターなどの連携により、信州型スーパークラスター*の形成を進め、高度技術を核とするものづくり産業の活性化や、人材の育成を図るとともに、日滝原産業団地な

どを活用した企業集積を推進します。

- 「産業フェアin善光寺平」などを通じて、販路拡大や広域的な企業間ネットワークの形成を促進します。



りんごの収穫体験

- 市場性の高いぶどうの品種「ナガノパープル」をはじめとした競争力のある作物の産地化や、伝統野菜、サフォーク（めん羊）など特色ある農畜産物のブランド化を進めるとともに、食品産業、観光産業などと連携した販路の拡大や地産地消を推進します。
- 上水内北部広域農道や、かんがい排水施設など農業生産基盤の整備や、林道整備を進めるとともに、野生鳥獣被害対策の推進、認定農業者や集落営農組織など多様な担い手の確保・育成により農林業の振興を図ります。

3 地域の“宝”を生かした観光地づくり

- 地域の中核的な観光地である温泉地やスキー場などの再生・活性化に向けた取組を支援します。
- 健康志向の高まりに応じた森林セラピー*などを活用した滞在型観光や、農山村の自然・生活文化を生かした体験型観光など、地域の宝を生かした特色ある観光振興を図ります。
- エムウェーブ、スパイラルのナショナルトレーニングセンター*指定を契機に、スポーツの振興を図るとともに、各種競技大会などの開催支援を通じ、スポーツを活用した交流の拡大や観光振興を図ります。

- 平成26年度（2014年度）の北陸新幹線長野・金沢間の開業を見据え、北陸各県なども含めた広域観光ルートづくりや情報発信などにより沿線地域との連携強化を図ります。



黒姫高原 癒しの森

4 誰もが安心して健康に暮らせる地域づくり

- 保健・福祉サービスの充実を図るとともに、医師をはじめとした医療従事者の確保、医療機関の相互連携などによる医療体制の整備を図り、誰もがいきいきと健康で暮らせる地域づくりを推進します。
- 犀川、浅川などの治水対策、治山・砂防事業の実施や、建築物の耐震化を促進するとともに、土砂災害警戒区域等*の指定、ハザードマップ*の作成支援、防災に対する意識啓発などにより、災害に強い安心して暮らせる基盤づくりを推進します。

- 長野以北並行在来線の存続に向けた取組や地域のニーズに即した交通システムを再構築する取組の促進などにより、地域の交通の維持・確保を図ります。
- 住民組織やNPOなど地域の多様な担い手と協働し、森林整備や野尻湖の水質浄化対策など、豊かな緑や清らかな水環境の保全に努めるとともに、子育てがしやすく、子どもが健やかに学び育つ環境づくりを進めます。

地域いきいき 広がる交流 ふるさと北信州

地域特性と発展方向

人と自然とが織り成す「ふるさと」の景観や森林空間、四季の変化に富んだ雪国ならではの文化は北信州の財産であり、この豊かな自然環境や、個性的で魅力ある風土・文化を生かした「誇れる地域づくり」を進め、地域の活力を創出します。

北陸新幹線飯山駅の開業を念頭に、豊かな自然と温泉・スキー・食・文化などの地域資源を生かした観光や、園芸産地として生産性の高い先進的な農業など、各産業の強みを生かした相互の連携や新産業の創出などにより、付加価値の高い安定的な地域産業の振興を図ります。



ブナの森トレッキング

日本有数の豪雪地帯という厳しい自然環境の中で、雪や災害に強く、安心して子育てができ、誰もが健康でいきいきと暮らせる快適な生活環境の整備を進めます。

施策の展開

① 自然と共生する北信州の個性や魅力を生かした地域づくり

- 地域に対する誇りや愛着をもった元気な地域づくりを進めるため、自然・景観・文化等の北信州の個性や魅力を生かした住民の自主的・主体的な活動やNPOなどの活動を支援し、交流人口と定住人口の増加をめざします。
- 四季折々の自然の変化を楽しめる、地域の個性的な「ふるさと」の景観づくりを進めます。
- 地域木材の利用促進と健全な森林づくりを進めるなど地球温暖化防止対策を推進するとともに、廃棄物の発生抑制と資源化・適正処理の推進により、資源循環型社会の形成を図ります。
- 将来の世代に良好な環境を引き継ぐため、野生鳥獣との共存をめざしながら、里山の保全、遊休農地の再生活用、森林病虫害防除対策に取り組めます。

② 地域資源を活用した産業振興と交流拡大

- スキーを中心とした冬季重視型の観光から、グリーンツーリズム*や森林セラピー*など豊かな自然をはじめとした地域資源を一層活用した通年型観光への転換を図るとともに、特産品等の地域食材を観光に取り入れるなど主力産業である農業との連携を進め、北信州全体の観光産業を強化します。



かまくらで遊ぶ

- 活力ある産業を地域に根付かせ、安定した就労の場を確保するため、企業の新製品・新技術開発、企業誘致、産学官の連携強化等を支援するとともに、人材育成や、地域資源を活用した産業の創出を図ります。



さくらんぼ狩り

- 意欲が高く、安定した農業経営が展開できる担い手の育成・確保を図るとともに、多様なニーズに対応した売れる農畜産物の生産と、人と環境にやさしい農業を推進し、特色あるブランド産地を確立します。また、農業水利施設など農業生産基盤の整備を進めます。
- 北陸新幹線飯山駅の平成26年度（2014年度）開業やそれに併せた飯山駅周辺整備、上信越自動車道の四車線化を促進するとともに、これらの高速ネットワークを活用した地域内外の交流を拡大するため、国道117号、国道292号、国道403号、県道豊田中野線、県道飯山斑尾新井線などの高速交通網へのアクセス道路や地域幹線道路の整備を進めます。
- 上信越自動車道や北陸新幹線などを活用した、隣接県や北陸各県を含む沿線地域との連携づくりを進め、北信州の広域的な活性化を図ります。

3 災害に強く、安全で安心な住みよい生活環境の整備

- 雪に強い道路整備やきめ細かい除雪を行うなどにより、冬期間の円滑で安全な交通を確保します。
- 千曲川をはじめとする無堤地区の解消など、浸水・内水対策や土砂災害対策を進めます。
- 森林整備や治山事業により健全な森林づくりを進め、森林の持つ公益的機能を高め、災害のない安全・安心な地域づくりを進めます。
- 雪は環境への負荷が小さい優れた冷熱エネルギーであり、貴重な資源として、農作物や

食品の低温貯蔵などへの活用を図ります。

- 不足する医師等医療従事者の確保などにより、安心して子育てできる環境を整備するとともに、高齢者や障害者など誰もが地域で自分らしく健康に生活できるための支援を行い、人口減少・少子高齢化時代に対応した保健・医療・福祉を充実します。
- 地域の生活交通を確保するため、公共交通の利便性向上を図るとともに、交通システムの再構築を図る取組を促進します。



棚田の稲刈り



川普請後の「魚つかみ獲り」大会